

イワショウブ	<i>Triantha japonica</i> (Miq.) Baker	準絶滅危惧
		ユリ科
選定理由	特に低湿地での生育地と個体数が急速に減少しており、更に減少すれば個体群の維持が危うくなり、絶滅する可能性が出てくる。	<p>写真(高橋弘)</p> 
形態の特徴	葉は長さ10-50cm。花茎は長さ10-60cm。花序は総状だが、一節に3個の花がつく。花柄の長さ4-12mm。花序と花柄には腺があって粘る。花被片は長さ5-7mm、白色。	
生態的特徴	湿地あるいは亜高山から高山の湿性草原に生える多年草。花は高地では8-9月、低地では9-10月に咲く。	
分布状況	日本の本州に固有で、東北から中国地方に分布する。岐阜県では県北の湿地と県南の東部と中部の低湿地にやや多く見られ、県南西部の北側の山地にもある。	
減少要因	開発による湿地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘